

令和元年度 第5回 岐阜県立多治見病院倫理委員会議事録

開催日時	令和元年 8月 1日 (木) 15時20分 から 16時00分
開催場所	中央診療棟3階会議室
出席者	伊藤 淳樹、松葉 英之、石垣 智康、和田 耕三、松原 千里、根岸 豊、高田 知二、西尾 静、川村 知子、堀内 正、伊藤 治彦、八田 将志
欠席者	大野 元嗣、加藤 好美、
出席状況 (参加者数/定数)	12名 / 14名

議 事

1 審査事項

受付番号：2019-05

全乳房照射においてField in Filed法を用いたプランの呼吸性移動に伴う分布変化

(申請者：リハビリテーション科 塚田 健太)

《審査結果》承認

(意見) 簡易認知症自己診断テストとあるが、質問を行った後に「自分は認知症ですか」と聞かれることがあるかと思いますが。

(回答) 認知機能をスクリーニングするもので認知症を診断するものではない。

(質問) 我々はわかりますが、こうやって書かれていると患者さんはそう思う。質問項目に入れ込むのであれば、質問の流れの中で入れ込んでもらうほうが患者さんにとっても誤解がないのではないか。

(質問) 文言の変更は可能か。

(回答) 可能です。

受付番号：2019-07

全乳房照射においてField in Filed法を用いたプランの呼吸性移動に伴う分布変化

(申請者：中央放射線部 伊佐地 範也)

《審査結果》承認

(意見) 乳房の際はしていないのか。

(回答) 行っていない。呼吸で線量分布がかわってしまう。そこを評価したい。

(意見) 1例だと特定されてしまうことが危惧される。同意を取るなどをしたほうが良い。オーソドックスな検査をまとめて評価するなら良いが・・・。誤差があるとなると同期しておこなうことになるのか。その時の照射は広範囲や必ずしも同期しなかったとなるか。

(回答) 今まで行われていたものは全国的に確立されたもので間違っていない。実際どれくらいあるのか確認したい。今まで行っていたものも、呼吸を含んだ画像で行っている。それを細かく切り分けて評価する。

※審議後関係者からの確認

(意見) 1例を提示しないとまずいのか。

(回答) 計算するのにCT画像が必要。ファントムでも良いが、より現実に近いもので行いたい。

(意見) ファントム使用するなら問題ないが、特定の1例だけ使うとなると問題になる。回答しづらい。1例がひっかかる。

受付番号：2019-08

複数の臨床プランを用いたIMRTコミッションング過程における線量に関与するMLCパラメータの最適化

(申請者：中央放射線部 鎌田 茂義)

《審査結果》承認

(意見) 症例は前立腺、頭部などバラバラで良いのか。

(回答) 部位ごとに動作状況によってMLCのパラメータは変えていく必要がある。分類分けをして傾向を出す。装置の使い分けをしている。狭い範囲はノバリス、広い範囲はトゥルービーム。+0.8%

に入っているが、その間でどの症例に寄せて、より重点を置いて0にもっていくか検討していく。

(意見) 模式図的な意味合い。あとは数式などか。

(回答) はい。

(意見) それであればオプトアウトは必要ない。個別の患者で検討するのか。

(回答) そういうものではない。

受付番号：2019-09

Deformable Image Registration を用いた自動輪郭描出機能に関する制度評価

(申請者：中央放射線部 佐賀 将人)

《審査結果》承認

(意見) 目視で評価するのか。

(回答) 体積がでるので、医師が囲ったもの、パソコンが自動で囲った体積から類似度を計算して、数値で評価する。

(意見) 出てくるのは数字だけか。

(回答) 当てはめた患者さんの体の輪郭が抽出された結果だけが出る。当てはめた方の CT 画像に各部位の場所が示された結果がでてくる。関連性はない。

2 その他

事務局からの報告